

# 尻高谷第3号砂防堰堤工事における安全対策について

美笠建設株式会社 尻高谷第3号砂防堰堤工事  
(工期：平成22年 6月 2日 ～ 平成22年 11月 18日)

現場代理人 ○ 森田 雅俊  
主任技術者 内方 光一



## 1) はじめに

本工事は、北アルプス連峰を源流として流れる蒲田川の支流尻高谷上流部に位置し、下流域の保育園や小学校等の施設、並びに地域方々の暮らしの安全を確保する為に、豪雨等による土砂の流出を防ぐ砂防堰堤を築造する工事でありました。



## 2) 工事概要

砂防土工	盛土及び埋戻し	490m <sup>3</sup>	仮設工	砂防仮締切工	1 式
コンクリート堰堤工	コンクリート堰堤本体工	401m <sup>3</sup>		工事用道路工	1 式
	間詰工（重力式擁壁）	160m <sup>3</sup>	雑工	構造物取壊し工	1 式
	間詰工（もたれ擁壁）	234m <sup>3</sup>			
	間詰工（巨石積）	130m <sup>2</sup>			
付帯道路工	コンクリート舗装工	2,270m <sup>2</sup>			

### 3) 地区道における安全対策について

今回の工事では、施工箇所まで栃尾地区道を使用しなければなりません。

地区道は狭く急勾配でカーブが多く見通しが悪い為、地権者の方々の立会の元、危険な箇所の選定をし、工事に先立ち以下の対策を行いました。

①車両がすれ違う為の待避所が少なかったため、待避所を造成しました。



造成前

造成後

②カーブの見通しの悪い箇所の立木を伐採しました。



伐採前

伐採後

#### 4) 熱中症対策について

平成22年の夏は猛暑が続き、炎天下の作業では熱中症の危険が増しています。熱中症にならないまでも、暑さで注意力が散漫になることも考えられます。作業中の安全確認・健康状態の確認に努めると共に以下の対策を講じました。

- ①スポーツドリンク・麦茶と塩飴を現場に常備し、いつでも水分補給及び塩分補給が行えるようにしました。



- ②作業員の後頭部の日除けと冷却をするため、ヘルメットに取り付ける冷却パッドを使用しました。パッドは保水性がよく、水に浸すことで冷却効果は持続します。



③熱中症計により気温・湿度を測定し、熱中症の危険度を確認しました。



④緊急時の為に、応急対策用品を現場に常備しました。



## 5) おわりに

仕事が軌道に乗り作業が順調に進むにつれて、慣れが出るのかつい安全確認も日常の事になってしまっていて緊張感が薄れるものですが、今回ご指導頂きました監督職員の皆様、工事関係者の皆様のおかげで安全対策の重要性を再確認することができました。皆様のご尽力により無事故で工事を終えることができ、感謝申し上げます。



完 成

